

# 「和食給食サミット 2018」で周知活動を行いました。（2018年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年11月4日（日）に、東京都千代田区の東京家政学院大学で開催された「和食給食サミット2018」（主催：和食給食応援団）にて、周知活動を行いました。

今年度の本イベントのテーマは「みんなで作る。ともに作る。理想の給食のありかた」。給食の調理現場が、生産者や食材メーカー、和食料理人などと、どう連携してよい給食を実施していくかについて、グループ討議、分科会、献立の調理実演、講演などが行われました。また、給食関連企業などのブースも多数出展されました。

本イベントには、2016年から（公財）塩事業センターが参加しています。塩事業センターのブースにおいて、昨年度に引き続き、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動も行いました。

塩事業センターは、グループ討議及び分科会に参加して、調理・食品加工における塩の役割や塩の物性、塩の歴史など、塩についての基礎的な知識をお伝えしました。加えて、ブースでは、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』やクリアファイル、マグネットなどを配布し、運動や塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。

当日はイベント全体では、栄養教諭、学校栄養職員などを中心に約200名の参加があり、大変賑わいました。その中で、約150名の方に、塩と暮らしの関係について、改めてお伝えすることができました。



# 「和食給食サミット 2017」で周知活動を行いました。（2017年度）

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年11月19日（日）に、東京都千代田区の東京家政学院大学で開催された「和食給食サミット」（主催：和食給食応援団）にて、周知活動を行いました。

このイベントは、日本の子どもたちに和食の素晴らしさを伝えるため、2011年から開催されています。

昨年より、このイベントには（公財）塩事業センターがブース出展していますが、今回は、このブースにおいて、塩と暮らしを結ぶ運動の周知も行ないました。

主な来場者は、栄養教諭・学校栄養職員など、普段から子どもたちの食に関わっている方々です。

会場には、飲食関係などの多数のブースが出展されたほか、パネルディスカッションや調理実演なども行われ、大変なにぎわいでした。約220名の来場があったということです。

このようなにぎわいの中、ブースに来られた約200名の方に、運動のリーフレットやクリアファイル、マグネットなどを配布し、周知を行いました。

普段から子供たちの健康のために栄養について考え、実際に献立、調理など食に関わっている方々に、塩と暮らしの関係について、改めて知っていただくことができました。

